

市民参加プラットフォームを活用したオンラインによる意見聴取の概要(第2弾)

【参考資料1-2】

募集期間:令和7年11月28日(金)～12月21日(日)

募集テーマ:令和9年度からの「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画策定にあたり、みなさんの声をお聞かせください。岸和田市の掲げる基本目標を実現していくために、みなさんはどのようなことができそうですか?

参加者数:24名、意見総数:41件(なお、下記では、意見を細分化して記載しています。)

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	妊娠婦や乳幼児の切り目ない健康づくりを進める	●妊婦健診や乳幼児健診など、健診をしっかり受ける ●乳幼児の健康管理や成長発達の把握に努め、必要に応じて育児相談を受ける ●地域住民は、子育てのための活動に積極的に取り組む		●個別訪問など、妊娠婦や乳幼児の健康管理を支援する	産後のママをサポートできるよう、父、実母や義母が休暇を取れるシステム。 実家を含めた家族でのサポートが得られない産後ママへのサポート体制。
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	●子育てに関するイベントなどに積極的に参加するとともに、SNSを活用して情報を発信する		●子育て家庭が安心して相談できる場所や機会の提供、子育て情報の発信を行う ●妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的な支援を行う ●子育て家庭が安心して過ごせる場を提供する ●子育てに関する講座が受講できる機会を提供する ●母子の保護と自立のための支援を行う	産後自宅で夫婦だけで育児する家庭に対する家事代行サービス利用補助制度の導入。 保育園利用家庭には買い物代行や宅配サービス利用補助の提供。 入園準備金を補助する制度の導入。
	働きながら子育てができている	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	●性別に関係なく、育休・産休の取得を理解し、協力する ●共働き世帯や同じ立場の人と交流し、悩みや経験を共有する ●地域活動に参加し、子育てや教育について話せる場をつくる ●結婚や離婚について気軽に経験を話せる場をつくる ●子育てに悩んでいる人が、子育て経験のある人からサポートを受けられる環境をつくる ●保育をサポートする機会へ参加する	学童保育の見守りボランティアへ参加する。	●子育て家庭が安心して相談できる場や機会の提供、子育て情報の発信を行う(再掲) ●ニーズに応じた保育や学童保育の量の確保を行う	学童保育の朝と夕方の両方の時間延長。 フルタイムの共働き世帯に対する学童保育時間の延長。 延長保育の追加料金の廃止。
		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	●家庭で安全確保のための行動や知識を教える ●子どもの安全見まもり隊に参加するなど、地域の子どもと顔をあわせた交流をする ●散歩や買い物など、日常生活の中で地域の子どもたちを見守る		●通学路の巡回パトロールなど、学校や登下校時、地域での安全対策を実施する ●地域で安心して遊べる環境を整える ●交通事故を未然に防ぐために必要な空間や施設等を整備する(再掲) ●地域のコミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(再掲)	公園に遊具を増やし、子どもの遊び場を充実。 公園のゴミ・喫煙対策の強化。
	子どもの個性と能力が豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	●子どもの教育に关心をもつ		●安心して通学・通園できる環境を整える ●経済的な支援を行う	公立小中学校入学準備金補助の実施。
		子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	●子どもが勉強や好きなことに取り組めるよう、家庭は子どもの関心ごとを応援する ●楽しみながら、自発的に勉強したくなる環境づくりや工夫を行つ ●勉強や知識が将来に役立つこと(事例など)を子どもと共有する		●データを利活用するなど、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る ●子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な支援を行う ●子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる(再掲) ●学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る(再掲)	学習支援・補習の充実。
		学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	●学校行事に積極的に参加する ●学校施設を大切に使う ●学校教育に关心をもち、教育について家庭で考える	子どもに学校の施設を大切にすること。 保護者は学校行事へ参加し、学校と協力して子供を支える。	●児童生徒が安全かつ快適に学べる学校施設環境を整える ●教育行政を円滑かつ効果的に運営し、活力ある学校づくりを進める	
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	●近所であいさつや声がけをする ●親子で地域活動に参加する ●思いやりや自主性・責任感を育む家庭をつくる(再掲) ●家庭で社会のルールやマナーについて話し合う	大人が見本となる行動をとる。 大人は日頃から子供に善悪を教え、見本となる生活を送る。 親は自分が子どもの見本になるように行動する。 基本的なマナーを守る。 親として、子どもにルールやマナーをしっかりと伝える。 だんじり祭りでマナーを守る。 祭りのマナーの向上。	●子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる ●学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る ●児童生徒の不安や悩みに対する相談・指導の体制を整える ●地域コミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(再掲) ●困ったときに、地域の中でお互いに助け合える関係づくりを支援する(再掲)	未成年が非行に走る可能性が高いというイメージを払拭する。
		生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	●様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニケーションのつながりを創出する ●趣味や特技を活かし、子どもをはじめ様々な人々と交流する ●子どもへの絵本の読み聞かせなどを行う	絵本を読んであげたり、図書館に行ったりして、本とふれあう機会を作る。 大人が本を読む習慣をつけ、図書館を活用することで、子供も本が好きになる。	●様々な学習を手軽に行える機会を提供する ●多くの市民が学べる環境(場)を整える	図書館を子どもが集まる快適な場所へ整備。
健康で自分らしく生きられるまち	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	●かかりつけ医をもち、まずはかかりつけ医に相談する ●応急処置などを学び、救急時の対応に努める ●救急車を適正に利用する		●二次医療機関(地域の基幹病院)としての市民病院の診療体制を整える ●常に、必要な医療サービスを必要なときに提供できる地域医療の体制を整える ●いざというときに応急処置や救急医療が受けられる体制を整える ●自立した生活を支える障害福祉サービスなどを提供する(再掲)	泉州北部小児センターの医師の確保困難と医療事務の人手不足への対応。 泉州北部小児センターの施設は、組織体制を市立病院に移し、保健センター内の空室へ移設。
	平和で多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人权や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	●地域の人にあいさつや声がけを行い、関係性を築く ●様々なマイノリティへの理解を深める ●他国の文化や価値観などを知り、理解を深める ●国際交流のイベントなどに参加する ●新しい人権問題などに关心をもつ	人の話を最後まで聞くこと。 批判せず、一旦受け止めること。 いろんな人とコミュニケーションをとること。 困っている人の力になれるよう努力する。 他国の文化を知る。	●多文化に触れる機会や場を創出するなど、他者理解を促進する	

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送られている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	●交通ルールやマナーを守る ●大人が交通マナーなどの模範行動をとる ●路上で遊んだり、自転車を放置しない ●交通安全活動に積極的に参加する ●高齢者の自主的な免許返納を支援する ●子どもの安全見まもり隊に参加するなど、地域の子どもと顔をあわせた交流をする(再掲)	交通ルールにおける家庭の親の行動による子どもの倫理観の育成。 交通ルールを守る。	●交通ルールやマナー、交通安全意識の高揚と対策を図る	
			●空き家を放置する危険性を理解する ●所有する空き家などを確認し、適切に管理・利活用する ●所有する建物の管理を適切に行う		●危険な空き家の情報を把握とともに、空き家の管理・利活用を支援する ●建築物の安全性を確保する ●良好な住環境の創出を促進する	廃寺・廃神社、空き家・空き地による犯罪誘発の阻止。 廃寺・廃神社、空き家・空き地の現状把握。 廃寺・廃神社、空き家・空き地の有効活用と保存。 まちの活性化による犯罪の抑制。
		防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	●防犯知識の習得や防犯グッズの活用などを行い、窃盗や特殊詐欺など、身近な犯罪に対する防犯意識を高める ●地域の防犯活動に参加する	路上飲酒はしない。	●地域の自主活動を支援する	
人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている まちの美化を進める	●一人ひとりがマナーを守り、不法投棄やポイ捨て、落書きなどしない ●落書きを見つけたら放置せずに対応する ●普段の生活の中で、ごみ拾いを習慣化するなど、美化意識を向上させる ●ペットは責任をもって飼育する ●生活排水に配慮する ●浄化槽の維持管理を徹底する ●単独浄化槽から合併浄化槽への転換や下水道への接続を行う	公共空間の清潔とマナーの改善を訴える。 ゴミはゴミ箱に捨てる。 ゴミは適切な場所に捨てる。 ゴミ落書きのないきれいなまちづくりを進める。 落書きしない。 落書き対策として、場所によっては、先に絵を描くといった逆手の対策。 落書きを隠すために、落書き禁止のポスターを上から貼る。 落書き通報のシステムがあれば、通報する。 落書きは放置すると増えるため、早期の対応が必要。 歩き煙草をやめる。	●衛生的で清潔なまちをつくる ●下水道整備を進めるとともに、合併浄化槽への転換や下水道接続に関する支援を行うなど、水質汚濁を防止する	ゴミ落書きのないきれいなまちづくりを進める。 落書き通報のシステムの導入。 公共物の落書きへの迅速な対応。 落書きへの早期対応の体制構築。 路上の落書き対策を強化し、警察介入を含む迅速な対応。 行政は落書き対策を公的に説明し、成果を示す。 岸和田市民全員が落書き等を通報できるよう登録制を導入。	
			●アドプト・ロード・プログラムなどの植栽活動に参加する ●田畠やため池の適切な維持管理に努める ●自宅や地域の緑化を推進する ●公園などの公共空間をみんなが快適に利用できるよう努める	木や花を植えたり、雑草を抜くボランティアがあれば参加する。	●市民の緑化意識の向上と地域緑化の推進を図る ●市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する ●森林を適正に保全・活用する	
			●家庭や地域でごみの分別や不用品についての知識・情報を共有する ●積極的に3R+Rに取り組む ●エコバッグやマイボトルを利用したり、環境に配慮した製品を購入する	社会インフラを支えてくれている人への感謝。 使えそうな物は、地域の広告掲示板などを活用。 ゴミの分別はきちんとする。	●3R+Rを周知するとともに、ごみの減量化や資源の有効活用を推進する ●ごみを適切に処理する	
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	●地域の産業の魅力を知り、発信する ●積極的に地産地消に努める ●使っていない農地を適切に管理する	使用していない農地の管理・活用や行政への相談。	●農業・漁業生産を維持するための支援を行い、地域で消費できる環境を整える ●農地の適正な保全・活用を支援する ●地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に	
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	●観光資源を知り、SNSなどを活用した情報発信を行う ●観光客におもてなしの心で接する	だんじり祭りの日には関わらない選択。	●観光施設の管理・運営など、観光客の受け入れ態勢を整える ●観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する	
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	●地域資源を知り、理解する ●まちのイメージ向上につながる取組を進めるとともに、SNSなどを活用した情報発信を行う	岸和田の海産物・農産物を購入し、SNSで広める。 市が発信した情報をリポストして広げる。 まちの美化やマナー向上後の魅力発信。 インターネット上の悪評の軽減・解消。 市外の人に岸和田の名産をPRする。	●今までにない岸和田の魅力を含め、地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う	インターネット上の悪評の軽減・解消。 だんじり祭りに頼らないまちづくりの推進。
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	拠点とのアクセス性の向上を図る	●自動車だけでなく、路線バス・コミュニティバスなどの公共交通機関を積極的に利用する ●徒歩や自転車など多様な移動手段を確保・活用する ●交通ルールやマナーを守る(再掲)	公共交通機関を利用。	●地域の特性に応じた最適な交通手段の検討・構築を進め	
		適正な土地利用と景観形成を進める	●景観を大切にし、景観に配慮したまちづくりを進める		●計画的で適正な土地利用や都市施設の配置を誘導する ●良好なまちなみと景観の形成を推進する	だんじりファーストではないまちの再開発。

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
みんながつくる持続可能なまち 持続可能で信頼される行政になっていく	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	●地域の取組について関心をもち、理解する ●地域で自分にできることを考え、行動する ●コミュニティ活動やボランティアをはじめ、地域のまちづくり活動や運営に積極的に参加する	地域の活動への参加を積極的に行う。 近隣の方への挨拶を日常的に行うことで、地域のつながりを作る。	●地域のコミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める	
		当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	●自治基本条例や市の取組に興味をもち、理解・参画する ●意見を述べる場に積極的に参加する ●個人や家庭でできることは、責任をもって行う ●地域で自分にできることを考え、行動する ●選挙の投票に行く ●市議会の運営に関心をもつ	市民はこのような気軽に意見を言える場に参加する。	●分かりやすく参加しやすい協働・参画の仕組みをつくる ●市としての一体感を醸成する ●市民との情報共有を推進する ●選挙を適正かつ円滑に執行する ●市議会の円滑な運営を支援する	市はNPOとの委託提携・協働を推進。 行政は、市民団体・NPOの取り組みの積極的なPRを実施。 登録せずに利用できるアンケートの構築。 市議会議員や市役所職員が率先して市民活動へ参加。 市役所は窓口を開設し、住民の声を率先して聞く。 市民の声への回答と行政の説明の実施。 意見収集手段として登録制のアプリを導入し、全市民の意見を聞く。
	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める		●市の取組に関心をもち、市政に関する認識を深める		●技術やノウハウの継承が行える環境を整えるとともに、政策形成やマネジメント能力をもった職員を育てる	行政は指揮を取ってまちづくりを推進。
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	●市の取組に関心をもち、市政に関する認識を深める ●統計調査に協力する		●業務の成果を正しく評価し、職員の適正な配置に努める ●職員が働きやすく、業務に専念できる良好な職務環境を整える	行政はしっかりと考えることが必要。 財源の透明性と適正配分が不足していると感じている。
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	●適正に申告し、期限を守って納税する ●受益者負担の考え方の下、各種使用料などを納付する		●目標の達成に向けて、計画的かつ適切な施策の推進及び進行管理、公平公正な事務の遂行に努める。 ●広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する ●合理的な組織編成と適正な人員管理に努める ●市及び公営企業の経営の効率性を確保する ●ICTを活用し、効率的に事務を行う ●公共工事や物品購入などの品質確保を図る ●市の財産を適正に管理する ●統計データを適切に管理する ●個人情報保護の徹底を図る	泉州北部小児初期救急広域センターの移設。
	持続可能で信頼される行政になっていく				●市税等を公平かつ適正に課税・収納する ●中長期の視点で、効果的・効率的な財源配分や単年度収支及び基金・借入金の管理を行う	他市で実施されている支援を岸和田でも受けられるようになります。 生活保護や非課税世代への援助ではなく、子供のための教育や医療、保育園等へ税金を活用。 全国の良い取り組みを参考に、市民目線で税金の使用用途を決定。 ゴミ袋代の使い道を、より市民生活の現実的な場所へ回す。 財政の透明性と説明責任を高める。

●意見発出者の分析

